



西新潟中央病院

NST NEWS 第13号

NST: Nutrition Support Team

発行日: 2014年11月18日

担当: NST委員会

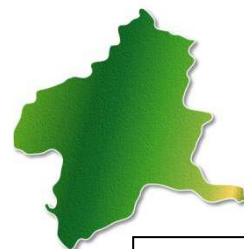
編集: 栄養管理室

連絡先: 内線 1303

NST委員会からのお知らせ

～第2回日本静脈経腸栄養学会 関東甲信越支部学術集会に参加して～

10月19日の日曜日、群馬県高崎市で開催された第2回日本静脈経腸栄養学会 関東甲信越支部学術集会へ参加してきました。多くの施設やメーカーも参加され、非常に勉強になる学術集会でしたので、一部を紹介させていただきたいと思います。



群馬県

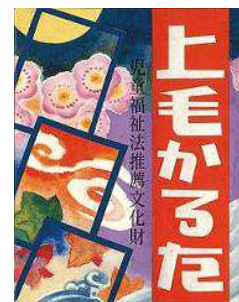
・抗菌薬使用時の整腸剤について

抗菌薬を投与すると腸内細菌も死滅してしまい、下痢になることがあります。その際に抗菌薬耐性の生菌製剤(ビオフェルミンR散®など)等を併用することが多いですが、キノロン系(クラビット®など)の抗菌薬には耐性がありません。そんな時に使用する生菌製剤が酪酸菌製剤(ミヤBM錠®など)です。酪酸菌は芽胞という自分を守る膜を作るので、各種抗菌薬から逃れることができます。当院では本剤は採用ではありませんが、抗菌薬投与による下痢でお困りの時は御一考ください。



・栄養補助食品を用いた抗EGFR抗体薬起因性皮膚障害の軽減

抗がん剤である抗EGFR抗体薬(アバスチン®など)の副作用に皮膚障害があります。ステロイドの内服や保湿剤等で対症療法が行われることが多いですが、創傷治癒を促すアミノ酸を多く含むアバンド®(β-ヒドロキシ-β-メチル酪酸(HMB)、L-グルタミン、L-アルギニン)を追加することで、皮膚障害を軽減することができたと報告がありました。ただし、腎機能が低下している患者さんには腎機能を悪化させる可能性があるので注意が必要です。



上毛かるた



焼きまんじゅう

※画像はメーカー、群馬県HPより引用

(文責: 薬剤科 小金澤佑太)

NST教育研修が無事終了いたしました。

10月7日より実施しておりましたNST専門療士教育研修が、11月4日をもって終了いたしました。

ご協力ありがとうございました。

次回春季研修は5月に実施予定です。

編集後記

今回学会が開催された群馬県はNSTが盛んであり、同じNHOの高崎総合医療センターもNSTに力を入れています。新潟県も負けずにNSTを盛り上げていきたいと思っています。